

ある週のスケジュール(M1後期・建築デザイン系)							
時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8:00							
9:00				経営情報システム			
10:00	研究室		研究室	空間情報デザイン論	研究室	研究室調査	
11:00	植生工学	自然生態工学					
12:00				都市環境デザイン論	空間デザイン実践論		
13:00				人間・環境関係論			
14:00	ゼミ不定期(週一)	TA					
15:00							
16:00	大ゼミ						
17:00							
18:00							
19:00			バイト		バイト		
20:00							
21:00							

## 現役大学院生に聞く一何を感じ、何を考えたか

### 大学院進学: 進学理由、動機は様々

Aさんは就職希望であり、進学するつもりは全くなかった。某ゼネコンの内定をもらい、就活は順調と思われたが、内定先から希望していた設計職ではなく施工管理への変更を通知された。落胆したAさんは、その内定を辞退するが、就活はすでに終了時期を迎え、納得する行先も見つからず、とりあえず大学院に進学することに。

Bさんは高専からの編入組。高専時代に先生から、高専卒だと望む職種や職階に就けないと聞き、研究職を希望することもあって大学進学、そして当初から院進学を考えていた。ただ、自分が関心を持てる分野にすんなりと巡り合えたわけではない。最初は、機械、次はデザインに取り組んでみたが、いずれも違和感があり、ようやく土木に落ち着いた。

### 意識の変化: 大学へ通う人から大学を拠点に活動する人へ

学部時代の居場所といえばクラブの部室であったが、そこに自分のデスクがあることで、大学院生となったからは研究室が変わった。進学理由は研究継続でも勉強を続けたいというわけでもなかったが、卒業を目的に与えられたテーマで進めた卒業研究に比べ、修士課程では自分で見つけたテーマで研究を実施しており、今は研究(=自分の関心があるテーマを考え続けること)が楽しく、大学へ主体的に通うようになった。授業は、学部時代よりも専門的内容に触れる機会が増えた。また、自らが発表者となって臨む講義が増え、面白くなった。

年間スケジュール例(M1年・建築デザイン系)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研究・ 設計演習など	発表準備	調査	発表準備	ゼミ発表		発表準備	学会発表	国際会議発表	発表準備	発表準備	ゼミ発表	設計競技
			学会発表	設計競技								
	卒業研究指導補助(通年・平均週1回程度)											
プライベート	ボランティア(子供向け自然教室・通年・月1回程度)											
	資格試験勉強(2級建築士製図/合格)											
	旅行(通年、月1回程度で北海道、中四国、九州など)											

ある週のスケジュール(M1後期・フィールド調査系)							
時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8:00							
9:00							
10:00			調査、または研究	空間情報デザイン論	調査、または研究	バイト	バイト
11:00	植生工学	自然生態工学					
12:00							
13:00	研究、またはゼミ	問題解決技法	大ゼミ	都市環境デザイン論	調査、または研究	バイト	バイト
14:00							
15:00		地域環境計画論		都市環境デザイン論			
16:00		知識工学	TA	研究室	研究室		
17:00							
18:00	研究室			研究室	研究室		
19:00							
20:00							
21:00							

## 現役大学院生に聞く一何を感じ、何を考えたか

### 研究活動: 要求水準をクリアすること、発信すること

研究は学会の設定するレベルに達することを要求され、それに達した段階でやっと評価される。学会での発表は大勢の前で自分の考えを伝える良い訓練機会となっていて、伝えることの難しさを実感している。だから、発表がうまくできて自分の研究に対してレスポンスがあると充実感と喜びを感じる。国際会議での発表は海外経験を積む良い機会だった。英語を話す訓練になった他、コミュニケーションの大切さを学んだ（これらは実社会で業務を遂行する上でも必須のスキルである）。

### 就職活動: 働くこと、それを見つめ直す時間

3年次では就職活動の慌ただしい流れの中で、早くそこから脱したいという思いがあった。一方、修士1年の間に、就職活動の一環ではなく、働くことそのものを熟考することができた。学部時代では就職、進学と選択できるという点で余裕があるが、大学院の場合、その先は就職一本となり、否が応でも真剣に仕事について考えざるを得ない。その中で、3年次では考えなかった就職先が見えることもある。

### 現役大学院生から3年生に一言

進学、就職を問わず、まずは周りの大学院生に聞いてみることを。

### 年間スケジュール例(M1年・フィールド調査系)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研究	調査(通年・週1回)											
		発表準備	学会発表		発表準備	学会発表		発表準備	国際会議発表	学会発表		
プライベート	サークル											
					旅行			サークル(イベント,同準備)			サークル	